



2020年6月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年8月7日

上場会社名 新東株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5380 URL <http://www.shintokawara.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 早川 正 TEL 0566-53-2631
 定時株主総会開催予定日 2020年9月28日 配当支払開始予定日 2020年9月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月28日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期の業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	5,495	△8.7	32	—	53	2.3	22	25.5
2019年6月期	6,021	4.6	1	—	51	—	17	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	62.68	—	0.7	0.8	0.6
2019年6月期	49.96	—	0.5	0.7	0.0

(参考) 持分法投資損益 2020年6月期 ー百万円 2019年6月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	6,692	3,341	49.9	9,444.11
2019年6月期	6,953	3,344	48.1	9,451.15

(参考) 自己資本 2020年6月期 3,341百万円 2019年6月期 3,344百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	110	△34	△152	65
2019年6月期	232	△45	△193	141

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期	—	0.00	—	75.00	75.00	26	150.1	0.8
2020年6月期	—	0.00	—	75.00	75.00	26	119.7	0.8
2021年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年6月期の配当予想につきましては、未定とさせていただきます。

3. 2021年6月期の業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

2021年6月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であるため、未定とさせていただきます。なお、当該理由につきましては添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年6月期	415,841株	2019年6月期	415,841株
② 期末自己株式数	2020年6月期	61,995株	2019年6月期	61,995株
③ 期中平均株式数	2020年6月期	353,846株	2019年6月期	353,846株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年6月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であるため、未定とさせていただきます。なお、当該理由につきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政成績の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
(6) 事業等のリスク	3
2. 企業集団の状況	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	9
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(持分法損益等)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、第一四半期は、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しや高水準な企業収益を背景に設備投資も増加する等緩やかな回復基調が続いていました。しかしながら、第二四半期以降は、消費税率の引き上げや新型コロナウイルスの感染拡大の影響で個人消費は大きく落ち込み、企業の生産活動も停滞したことで景況感は大きく悪化しました。

住宅市場におきましても、前述の通り、消費税率の引き上げや新型コロナウイルスの感染拡大に伴う購買意欲の低下により、新設住宅着工戸数は減少しました。

このような状況の中、当社は、当社主力製品である「CERAMシリーズ」「SHINTOかわらS」の拡販や新規顧客の掘り起こしの他、Y o u T u b e や L I N E 等の SNS を活用した商品 P R や W e b 会議型アプリを使用しリモート営業を始める等、積極的な営業活動に努めましたが売上高は5,495百万円（前期比526百万円減少）と前年比減収となりました。

利益面におきましては、燃料価格の大幅な下落による製造コストの低下や工場の稼働スケジュールの見直し、及び賞与の減額等のコスト削減に努めた結果、営業利益32百万円（前期比30百万円増加）、経常利益53百万円（前期比1百万円増加）、当期純利益22百万円（前期比4百万円増加）となりました。

なお、当社は瓦製造販売事業の単一セグメントであるため、セグメントとの関連は記載しておりません。

(2) 当期の財政成績の概況

(資産の状況)

流動資産は、商品及び製品が205百万円増加したものの、売掛金の190百万円、現金及び同等物の76百万円減少等により、2,678百万円（前期比160百万円減少）となりました。固定資産は、有形固定資産の94百万円減少等により、4,013百万円（前期比100百万円減少）となりました。その結果、資産合計では、6,692百万円（前期比260百万円減少）となりました。

(負債の状況)

流動負債は、短期借入金の110百万円及び1年内返済予定の長期借入金の49百万円減少等により、2,915百万円（前期比308百万円減少）となりました。固定負債は、長期借入金の41百万円増加等により、435百万円（前期比50百万円増加）となりました。その結果、負債合計では、3,350百万円（前期比258百万円減少）となりました。

(純資産の状況)

純資産は、当期純利益22百万円となり、配当金支払が26百万円あったこと等により、3,341百万円（前期比2百万円減少）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度と比較して76百万円減少し、65百万円となりました。

当会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動における資金の収入は、110百万円（前期232百万円の収入）となりました。

これは、主に非資金費用である減価償却費151百万円、売上債権の減少301百万円の増加要因があったこと等に対し、棚卸資産の増加211百万円の減少要因があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動における資金の支出は、34百万円（前期45百万円の支出）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出32百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動における資金の支出は、152百万円（前期193百万円の支出）となりました。

これは、主に借入金の純減少118百万円、配当金の支払額26百万円があったこと等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
自己資本比率 (%)	47.2	48.1	49.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	14.1	11.1	10.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	11.4	9.5	18.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	12.3	14.6	7.6

※ 各指標の基準は下記のとおりであります

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い
 株式時価総額：期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）
 営業キャッシュ・フロー：キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フロー
 利払い：キャッシュ・フロー計算書の利息支払額
 有利子負債：貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債

（4）今後の見通し

今後のわが国経済見通しは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、消費の落ち込みや生産活動の停滞、世界経済の急減速も見込まれ、極めて不透明な経済環境が続くことが想定されます。

住宅業界におきましても、緊急事態宣言発令に伴い一部住宅展示場の営業停止や、日本経済の先行きの不透明感から、住宅着工件数が前年比で落ち込むことが予想されております。そのため、今後の市場の先行きの不透明感が強い状況にあり、業績予想を現段階で合理的に算定を行うことが困難であるため、2021年6月期の業績予想及び配当予想を未定とさせていただきます。

なお、今後、予想が可能になった段階で速やかに公表致します。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分に関する基本方針は、株主及び投資家の利益を保護することを基本原則としており、また、企業としての社会的責務を遂行し社会的信用の一層の向上に努め、業績の拡大及び利益の向上により多くの皆様に支援される企業でありたいと認識しております。

株主の皆様に対する利益還元につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化等を勘案し、安定的かつ継続的な配当を行うことと、業績の進展状況に応じて、積極的な利益還元を行うことを基本方針としております。

上記方針に基づき、当期の期末配当につきましては、1株当たり年75円の普通配当を予定しております。なお、次期の配当につきましては、（4）今後の見通しに記載の通り、新型コロナウイルスの影響により今後の市場の先行きが不透明であることから、配当予想を未定とさせていただきます。

（6）事業等のリスク

当社の事業リスクについては、投資家の判断に重要な影響を及ぼす可能性があると考えられる事項を記載しております。当社は、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避に向けて努力しております。

本項においては、将来に関する事項が含まれておりますが、当該事項は事業年度末現在において判断したものであります。

① 新設住宅着工戸数について

当社は、粘土瓦を国内の大手ハウスメーカーをはじめ工事店、問屋、代理店等を経由して販売しております。

粘土瓦は、住宅の新設時に多量に使用されることが多く、その使用量は新設住宅着工戸数の増減に左右され景気動向、住宅地価の変動、金利動向、政府の住宅政策、税制、少子化等の要因も、業績に影響を及ぼす可能性があります。

② 事業に対する法的規制について

当社は、社会的責任の立場から地域住民の生活環境を保全するため、法的規制、行政指導について常に関心を持ち、公害防止のため万全の措置を講じ、法的に適正と認められておりますが、法律の改正または新たな規制の制定により、当社工場の運営に支障を来し、業績に影響を及ぼす可能性があります。なお、当社港南工場及び明石工場において碧南市長に対し公害防止計画書を提出しております。

碧南市における法的規制の主なものは以下のとおりであります。

- 1) 大気汚染防止法
- 2) 水質汚濁法
- 3) 騒音規制法・振動規制法
- 4) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

③ 特定取引先への依存度について

1) 原材料仕入について

当社は、粘土瓦の主原料となる、粘土及び釉薬を特定の仕入先より仕入れを行っております。粘土については配合粘土を使用しており、その粘土の配合割合によって、製造工程に影響を及ぼすことがあり、限られた仕入先から供給を受けることが業界の通例となっております。また、釉薬についても同様であり、色調、品質的に安定度の高いものが求められるため、限られた仕入先から仕入れを行っております。このため特定の仕入先への依存度が高く、仕入先の経営状態が悪化した場合、当社製品の製造に支障をきたし、業績に影響を及ぼす可能性があります。

2) 販売先について

当社が生産するモジュール瓦は、その製造技術・品質、施工性、作業環境等の改善技術が認められ、大手ハウスメーカーの採用を受けていることから、大手ハウスメーカー向け専用瓦となっております。従いまして大手ハウスメーカーの販売する住宅の様式、屋根仕様の大幅な変更、また、当社の特許権等を無視し他社が類似商品の生産を行い多量に市場投入した場合に、業績に影響を及ぼす可能性があります。

④ 原油価格の変動の影響について

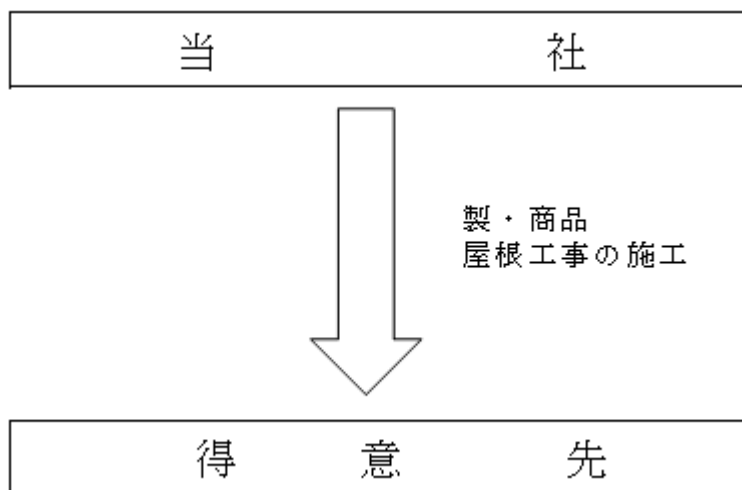
当社は、液化石油ガス及び重油を燃料として使用しております。当社では常時市況価格を注視しながら取引業者との価格交渉にあっておりますが、中国・インド等の新興国の需給、米国・ユーロ圏景気、為替レート、投機ファンド等の状況により、原油価格が急激に変動することがあり、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 企業集団の状況

当社は、粘土瓦の製造販売及び屋根工事の施工を主な事業としております。

なお、当社は、瓦製造販売事業の単一セグメントであります。

事業の系統図は次のとおりであります。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

4. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	261,898	185,342
受取手形	284,394	225,107
電子記録債権	202,580	151,480
売掛金	847,623	657,075
商品及び製品	1,146,357	1,352,182
仕掛品	17,963	15,391
原材料及び貯蔵品	59,748	67,701
前払費用	16,072	15,402
その他	4,296	11,226
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	2,838,936	2,678,911
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,637,513	2,637,513
減価償却累計額	△1,699,664	△1,764,156
建物(純額)	937,848	873,356
構築物	378,099	379,334
減価償却累計額	△331,931	△336,844
構築物(純額)	46,167	42,489
機械及び装置	3,607,405	3,600,170
減価償却累計額	△3,521,134	△3,505,943
機械及び装置(純額)	86,271	94,227
車両運搬具	148,344	146,823
減価償却累計額	△138,311	△141,443
車両運搬具(純額)	10,033	5,379
工具、器具及び備品	553,762	588,903
減価償却累計額	△502,299	△540,116
工具、器具及び備品(純額)	51,463	48,787
土地	2,717,187	2,717,187
リース資産	112,677	112,677
減価償却累計額	△40,830	△48,341
リース資産(純額)	71,847	64,335
建設仮勘定	61,976	42,981
有形固定資産合計	3,982,794	3,888,744
無形固定資産		
ソフトウェア	7,077	5,470
電話加入権	2,031	2,031
無形固定資産合計	9,108	7,501

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	55,256	59,756
出資金	20,548	20,548
破産更生債権等	1,021	901
長期前払費用	8,580	7,319
繰延税金資産	8,799	—
保険積立金	14,333	16,130
その他	14,803	13,588
貸倒引当金	△904	△784
投資その他の資産合計	122,437	117,460
固定資産合計	4,114,340	4,013,706
資産合計	6,953,277	6,692,617
負債の部		
流動負債		
支払手形	54,143	62,785
電子記録債務	375,248	337,294
買掛金	338,694	304,414
短期借入金	1,960,000	1,850,000
1年内返済予定の長期借入金	99,996	50,018
リース債務	7,322	7,636
未払金	237,651	210,013
未払費用	33,482	24,224
未払法人税等	14,421	11,047
前受金	6,664	10,367
預り金	12,169	2,497
賞与引当金	11,352	8,108
設備関係支払手形	11,298	8,306
営業外電子記録債務	27,471	27,535
その他	33,914	1,034
流動負債合計	3,223,831	2,915,284
固定負債		
長期借入金	58,351	100,000
リース債務	77,619	69,983
繰延税金負債	—	7,182
退職給付引当金	175,896	184,345
資産除去債務	33,382	34,117
その他	39,944	39,944
固定負債合計	385,194	435,572
負債合計	3,609,026	3,350,857

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,903	412,903
資本剰余金		
資本準備金	348,187	348,187
利益剰余金		
利益準備金	21,487	21,487
その他利益剰余金		
別途積立金	2,000,000	2,000,000
繰越利益剰余金	673,779	669,421
利益剰余金合計	2,695,267	2,690,909
自己株式	△125,108	△125,108
株主資本合計	3,331,250	3,326,891
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,001	14,869
純資産合計	3,344,251	3,341,760
負債純資産合計	6,953,277	6,692,617

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高		
製品売上高	2,974,842	2,667,152
商品売上高	1,068,049	997,116
工事売上高	841,176	844,732
その他の売上高	1,137,652	986,280
売上高合計	6,021,719	5,495,282
売上原価		
製品及び商品期首たな卸高	1,261,530	1,146,357
当期商品仕入高	1,716,833	1,568,633
当期製品製造原価	2,537,202	2,472,435
合計	5,515,565	5,187,426
製品及び商品期末たな卸高	1,146,357	1,352,182
製品及び商品売上原価	4,369,208	3,835,243
工事売上原価	741,821	726,818
売上原価合計	5,111,030	4,562,062
売上総利益	910,689	933,220
販売費及び一般管理費	909,636	901,176
営業利益	1,053	32,044
営業外収益		
受取利息	21	9
受取配当金	2,176	2,113
受取運送料	24,653	22,779
受取家賃	4,086	3,757
受取保険金	25,664	931
その他	10,260	5,983
営業外収益合計	66,863	35,575
営業外費用		
支払利息	15,917	14,459
固定資産除却損	40	28
その他	38	1
営業外費用合計	15,996	14,489
経常利益	51,920	53,129
特別損失		
減損損失	17,376	6,820
投資有価証券評価損	10,274	—
特別損失合計	27,650	6,820
税引前当期純利益	24,269	46,309
法人税、住民税及び事業税	7,993	10,084
法人税等調整額	△1,403	14,044
法人税等合計	6,589	24,129
当期純利益	17,679	22,179

（3）株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2018年7月1日 至 2019年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
				別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	412,903	348,187	21,487	2,000,000	682,638	2,704,126	△125,108	3,340,109
当期変動額								
剰余金の配当					△26,538	△26,538		△26,538
当期純利益					17,679	17,679		17,679
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	—	—	△8,858	△8,858	—	△8,858
当期末残高	412,903	348,187	21,487	2,000,000	673,779	2,695,267	△125,108	3,331,250

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	10,811	3,350,920
当期変動額		
剰余金の配当		△26,538
当期純利益		17,679
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,189	2,189
当期変動額合計	2,189	△6,669
当期末残高	13,001	3,344,251

当事業年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
				別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	412,903	348,187	21,487	2,000,000	673,779	2,695,267	△125,108	3,331,250
当期変動額								
剰余金の配当					△26,538	△26,538		△26,538
当期純利益					22,179	22,179		22,179
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	—	—	△4,358	△4,358	—	△4,358
当期末残高	412,903	348,187	21,487	2,000,000	669,421	2,690,909	△125,108	3,326,891

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	13,001	3,344,251
当期変動額		
剰余金の配当		△26,538
当期純利益		22,179
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,867	1,867
当期変動額合計	1,867	△2,490
当期末残高	14,869	3,341,760

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	24,269	46,309
減価償却費	153,762	151,174
投資有価証券評価損	10,274	-
減損損失	17,376	6,820
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,373	8,448
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△120	△120
賞与引当金の増減額(△は減少)	60	△3,244
受取利息及び受取配当金	△2,198	△2,122
支払利息	15,917	14,459
売上債権の増減額(△は増加)	△146,735	301,055
たな卸資産の増減額(△は増加)	124,328	△211,205
仕入債務の増減額(△は減少)	30,991	△63,591
未払金の増減額(△は減少)	△6,213	△45,328
未払消費税等の増減額(△は減少)	21,416	△38,467
その他	△16,449	△28,456
小計	231,058	135,730
利息及び配当金の受取額	2,197	2,126
利息の支払額	△15,903	△14,602
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	15,006	△12,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	232,358	110,274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△140,002	△140,005
定期預金の払戻による収入	140,000	140,004
有形固定資産の取得による支出	△44,768	△32,315
その他	△950	△2,041
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,720	△34,358
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,530,000	2,980,000
短期借入金の返済による支出	△2,590,000	△3,090,000
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△99,996	△108,329
リース債務の返済による支出	△7,022	△7,322
配当金の支払額	△26,409	△26,821
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193,427	△152,473
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,789	△76,557
現金及び現金同等物の期首残高	148,686	141,896
現金及び現金同等物の期末残高	141,896	65,339

（5）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は、瓦製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	9,451.15円	9,444.11円
1株当たり当期純利益金額	49.96円	62.68円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
純資産の部の合計額（千円）	3,344,251	3,341,760
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	—	—
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	3,344,251	3,341,760
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（千株）	353	353

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益金額（千円）	17,679	22,179
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益金額（千円）	17,679	22,179
期中平均株式数（千株）	353	353

（重要な後発事象）

該当事項はありません。